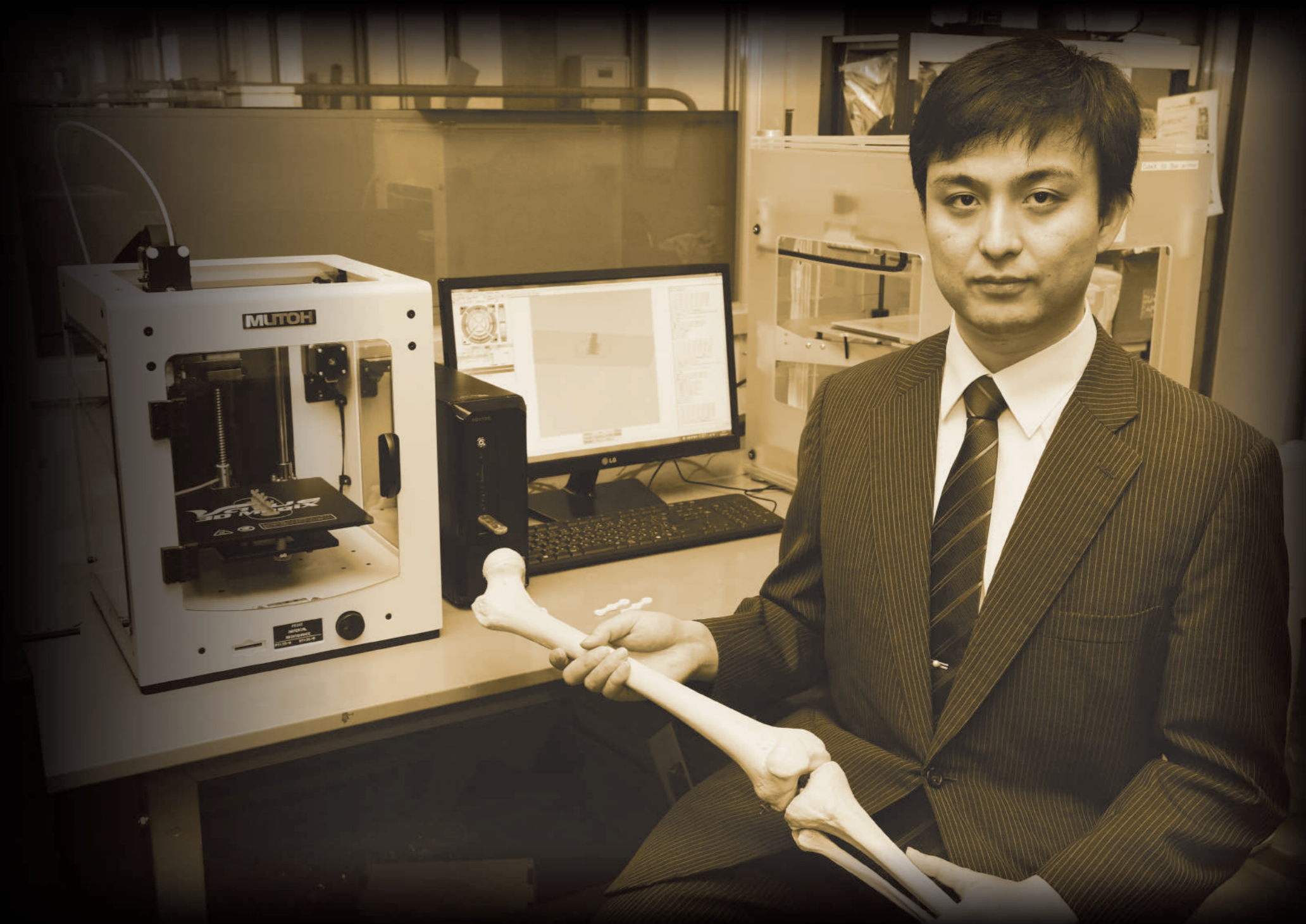


一人一人にフィットしたインプラントを！

有限要素法と3D造形法を利用し 患者の負担軽減

骨折をした際、状態によっては患部を金属などで直接固定する手術を行い治療する場合があります。この方法であれば、骨が結合するスピードも早く、より早く日常生活に戻ることができます。しかし、日本で使用されている整形外科インプラントの多くは外国人用に設計された外国製であるため、ほとんどの日本人の体格には適合しません。さらに、金属アレルギーを持つ患者さんの治療に使用できるインプラントは限られています。そこで私は、有限要素法と3D造形法を組み合わせた新しい整形外科インプラントの設計・製造法の確立を研究しています。具体的には、患者さんごとに骨の形や質を調査し、一人一人にフィットするインプラントの設計により固定性に優れます。また、生体に吸収される樹脂を用いることで、金属アレルギーを持つ患者さんにも適用でき、術後の負担を軽減できるプレートが製作できます。今後も、より多くの患者さんの治療に貢献していきたいと思っております。



工学部 機械工学科 中牟田 侑昌 助教



崇城大学

SOJO UNIVERSITY

薬学部	生物生命学部	工学部			情報学部	芸術学部			
薬学科	応用微生物工学科	応用生命科学科	機械工学科	ナノサイエンス学科	建築学科	宇宙航空システム工学科	情報学科	美術学科	デザイン学科

〒860-0082 熊本市西区池田 4-22-1

問い合わせ(入試課直通) TEL:096-326-6810

そうじょう大学 検索